

令和7年度 放課後等デイサービス(集団)自己評価表

事業所名		放課後等デイサービス事業所四日市市立あけぼの学園		公表日		令和 8年 2月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・こどもたちの姿に合わせて机などの配置や隣室との区切りなどを変えています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・一人一人の様子を見守りながら、場所を変える等、安心して過ごせるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回の評価表や支援計画渡しの際等の機会があり、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・毎年実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部の研修や園内での研修に積極的に参加しています。研修で学んだことを会議で報告し、職員間で共有できるようにしています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページで公表されていますが、職員間でも改めて紙面で配布し共通認識しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・利用児に関わる職員間で計画を立てるようにしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・個別支援で行っている評価を生かした支援を行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・他事業所に行くことが困難な児への移行支援を主にしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・利用児に関わる職員間で活動の内容を立案するようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・安心して過ごせるよう、一日の流れは大きく変えず、季節の行事などを取り入れるなどして活動内容を変化させています。		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人記録の記入の仕方(児の姿、支援方法、次の支援につなげたいことなど)を話し合っています。		
	20	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回はモニタリングを行い、個別支援計画の作成を行っています。		

	21	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		
	22	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・子どもの思いを汲み取り、自己決定する機会を意図的に入れています。
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて他機関と連携を取っています。
	25	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・にじ学園、さらら学園とは、学校との情報共有を行い、こどもの迎え時に今日の様子についてなど、情報交換を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・当センター内の児童発達支援の利用児であることが多く、また個別支援の利用児でもあるため、保護者に許可を得て連携を取っています。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・日頃から連携を図り、助言や研修を受けています。
	29	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・代表者が参加して、情報共有しています。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者と話をする機会を持ち、共通理解できるように努めています。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・送迎時や個別支援計画渡しの時などで、お子さんへの対応について保護者と共に考えたり、保護者のできる支援を伝えたりしています。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際に行っています。
	33	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時、利用時に保護者の意向やこども自身の意思を確認するようにしています。
	34	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	35	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・契約時や日頃の送迎時の聞き取りを行い、その都度悩みなどについて相談に応じています。
保護者への説明等	36	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページについては事業の概要を掲載しており、今回ご協力いただいた評価表のまとめや事業所ごとの自己評価についても毎年更新して掲載しております。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域行事の機会に事業所紹介をする機会を設けています。
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・避難訓練や防犯訓練を定期的に全職員で実施しています。
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・緊急の対応が必要となる可能性がある利用児には、契約時に緊急時の対応について聞き取りを行い、職員間で情報共有をしています。	

	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の意見書をもとに、毎月、保護者、管理栄養士、支援員で提供のおやつの原料表を見て確認しています。	
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全管理に関わる研修を行っています。	
非常時等の対応	46	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故などが起きた時には、情報を職員で共有し、今後の対応について検討しています。	
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。	
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束の適正化のための指針を作成・掲示して、周知に努めています。	